

理事及び監事は、評議員会の決議により、選任する

3. 主要事業の概要

【事業規模(事業費)】

(単位:千円)

事業名	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度		令和8年度 当初予算	備 考
			当初予算	実績		
① 展示情報事業	15,121	18,216	17,347	17,413	20,014	常設展示(展示資料の維持管理)及び実物資料・映像資料の収集・貸出しなど
全事業合計に占める割合	70.8%	78.7%	66.0%	71.3%	79.6%	
② 企画事業	6,251	4,605	8,438	6,567	4,710	特別展の開催及び講演会・平和学習講座などの企画事業の開催
全事業合計に占める割合	29.2%	19.9%	32.1%	26.9%	18.7%	
③ グッズ等販売事業	0	337	410	446	410	オリジナルグッズの販売
全事業合計に占める割合	0.0%	1.5%	1.6%	1.8%	1.6%	
④ ①～③以外の事業	0	0	100	0	0	
全事業合計に占める割合	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	
全事業合計	21,372	23,158	26,295	24,426	25,134	

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

【事業計画及び事業実績】

事業名	事 項	事業量			備 考
		令和7年度計画	令和7年度実績	令和8年度計画	
①展示情報事業	(1)常設展示	展示の解説内容の変更やキャプションの多言語化	予定通り実施	必要に応じて、アップデートを実施する	(平和や人権に関する作品を上映) (平和や人権に関する作品を上映)
	(2)①寄贈資料収集 ②資料貸出	①随時受入 ②407件 (デジタルコンテンツ利用含む)	①209点の資料を収集 ②430件の資料を貸出 (デジタルコンテンツ利用含む)	①随時受入 ②409件	
②企画事業	(1)特別展示	戦後80年を踏まえた展示	3回実施 62,585人来場	順次開催予定	
	(2)平和祈念事業	4回(8月1回,9月1回,12月1回,3月1回)	4回実施 479人来場	4回(8月1回,9月1回,12月1回,3月1回)	
	(3)ウィークエンドシネマ	毎週土曜日	毎週土曜日実施 3,704人来場	毎週土曜日	
	(4)親子(映画)まつり	GWに実施/夏・春休みを予定	予定通り実施 524人来場	GW,夏休みを予定	
	(5)府政学習会	10月19日実施予定	予定通り実施 55人参加(公募型)	随時	
	(6)出前事業 (①展示、②「語り部」派遣)	①12回 ②ー	①出前展示は12回実施 ②デジタルコンテンツを学校へ貸出、YouTubeで動画公開	①12回 ②随時実施	
	(7)館報「ピースおおさか」の発行	随時	1月に発刊	随時	
③グッズ等販売事業	(1)オリジナルグッズの販売	Tシャツ等、一部商品リニューアル	リニューアル実施、収入592,739円	随時	

4. 大阪府の財政的関与の状況

(単位:千円)

区 分	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度		令和8年度 当初予算	補助金、委託料等の内容
			当初予算	実績		
補 助 金	66,626	60,706	67,456	68,029	69,916	
(内訳) 大阪国際平和センター補助金	45,097	45,816	46,823	47,411	52,193	大阪国際平和センターの運営補助
大阪国際平和センター補修等整備費	21,529	14,890	20,633	20,618	17,723	施設修繕計画に基づく補修工事・展示解説の多言語化に対する補助
委 託 料	0	0	0	0	0	
貸 付 金	0	0	0	0	0	
その他(分担金・負担金・出捐金等)	353	384	0	394	0	
会場使用料 (使用料)	353	384	0	394	0	講堂等の会場使用料
合 計	66,979	61,090	67,456	68,423	69,916	

(単位:千円)

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
府損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0
府借入金残高(期末)	0	0	0

5. 財務状況

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比増減	分析・評価
貸借対照表	資産合計	1,818,300	1,748,176	1,692,181	△ 55,995	(特定資産) 特定資産の減少については、建物等の減価償却により減(66,042千円)となった一方で、建物付属設備が増(13,781千円)となったことが主な要因である。 (未払金) 未払金の減少については、長期修繕費等の未払金の減(6,413千円)によるものである。
	流動資産	58,203	40,138	34,396	△ 5,742	
	現金預金	52,003	33,524	30,122	△ 3,402	
	未収金	4,814	5,210	2,759	△ 2,451	
	その他流動資産	1,386	1,404	1,516	112	
	固定資産	1,760,097	1,708,038	1,657,785	△ 50,253	
	基本財産	200,000	200,000	200,000	0	
	特定資産	1,546,107	1,494,565	1,444,830	△ 49,735	
	その他固定資産	13,990	13,473	12,955	△ 518	
	負債合計	56,249	38,101	31,871	△ 6,230	
	流動負債	56,249	38,101	31,871	△ 6,230	
	短期借入金	0	0	0	0	
	未払金	54,849	36,410	29,997	△ 6,413	
	その他流動負債	1,401	1,692	1,874	182	
	固定負債	0	0	0	0	
	長期借入金	0	0	0	0	
	各種引当金	0	0	0	0	
	その他固定負債	0	0	0	0	
正味財産合計		1,762,050	1,710,075	1,660,311	△ 49,764	
指定正味財産		1,746,107	1,694,565	1,644,830	△ 49,735	
一般正味財産		15,944	15,509	15,481	△ 28	

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(単位:千円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比増減	分析・評価	
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)						
	経常収益	215,223	186,110	196,843	10,733		
		基本財産運用益	702	707	704	△ 3	
		特定資産運用益	0	0	0	0	
		受取会費	302	292	226	△ 66	
		事業収益	3,835	4,775	5,208	433	
		グッズ等販売事業収入	398	423	593	170	
		受取補助金等	132,936	101,655	111,231	9,576	(受取補助金等)
		受取負担金	0	0	0	0	受取補助金等の増加については、多言語化や
		受取寄付金	29	0	0	0	QRコードによる展示ガイドランスの導入などの
		平和寄金収入	1,128	897	1,800	903	来館者の受入環境整備に係る補助金の増
		固定資産償却費振替額	74,773	76,190	75,860	△ 330	(9,907千円)が主な要因である。
		その他の収入(受取利息収入等)	1,120	1,169	1,221	52	
		経常費用	215,224	186,453	196,871	10,418	(事業費)
		事業費	187,091	159,159	169,022	9,863	事業費の増加については、来館者の受入環境
		管理費	28,133	27,294	27,850	556	整備に伴う委託費の増(9,957千円)が主な要
		当期経常増減額	△ 1	△ 343	△ 29	314	因である。
		経常外収益	0	0	0	0	
		経常外費用	0	91	0	△ 91	
		棚卸資産評価損	0	91	0	△ 91	
		当期経常外増減額	0	△ 91	0	91	
		当期一般正味財産増減額	△ 1	△ 434	△ 29	405	
	(指定正味財産増減の部)						
	受取補助金	4,785	24,715	26,928	2,213		
	平和寄金収入	877	831	997	166		
	一般正味財産への振替額	△ 75,901	△ 77,087	△ 77,660	△ 573		
	当期指定正味財産増減額	△ 70,239	△ 51,541	△ 49,736	1,805		
	正味財産期末残高	1,762,050	1,710,075	1,660,311	△ 49,764		

※単位未満は四捨五入を原則としたため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

(単位:千円)

仕組債の保有状況	保有総額＜令和7年3月31日時点＞	保有総額(A)＜令和8年3月31日時点＞	時価評価額(B)＜令和8年3月31日時点＞	保有総額と時価評価額差(B)-(A)
	0	0	0	0

主な経常費用	令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比増減	分析・評価
役員人件費	9,885	10,186	10,494	308	(職員人件費) 職員人件費の増加については、給与単価改定による増である。
職員人件費	22,128	22,522	23,348	826	
退職給付費用	0	0	0	0	
減価償却費	75,291	76,708	76,378	△ 330	

主要経営指標		令和5年度	令和6年度	令和7年度	前年度比増減	分析・評価
公益目的事業比率	公益事業費用／経常費用	86.9%	85.4%	85.9%	0.5%pt	
人件費比率	人件費／経常費用	14.9%	17.5%	17.2%	-0.3%pt	
自己収入比率	自己収入／経常収益	3.2%	4.1%	4.6%	0.5%pt	
流動比率	流動資産／流動負債	103.5%	105.3%	107.9%	2.6%pt	
借入金比率	借入金残高／負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%pt	

6. R7年度 経営目標の達成状況

Ⅰ. 最重点目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	単位	R6実績値	R7目標値	R7実績値 (※1)	ウエイト	得点 (※2)	小計 (※3)
① 平和学習の推進	府内小中学校来館率 (ピースおおさかに来館した府内公立小中学校数／府内全公立小中学校数)	%	31.4	31.6	30.0	20	0	10/30 【33%】
	学校関係へのPR	回	30	30	30	10	10	

Ⅱ. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

① 平和学習の推進	平和学習満足度 (「ピースおおさかが平和学習の場として役立ったか」という問いに対し、「役立った」／全回答) (選択肢は、「役立った」「役立ったがもう少し工夫・改善があればなお良い」「あまり役立たなかった」「役立たなかった」)	%	94.6	90.0	96.4	10	10	45/45 【100%】
② ピースおおさかの利用促進	入館者数	人	73,681	72,300	75,351	15	15	
③ 館外での資料活用	貸出資料利用件数(デジタルコンテンツ利用件数含む)	件	406	407	430	10	10	
	出かける展示	回	12	12	12	10	10	

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 自主財源の確保	平和寄金収入	千円	1,356	956	1,522	15	15	25/25 【100%】
⑤ 入館料収入の確保	入館料収入	千円	4,233	4,163	4,664	10	10	

※1 網掛けは目標達成項目。

※2 目標値が前年度実績以上の場合、当該年度の実績値が目標値に到達しないときでも、達成状況に応じて加点を行う。

※3 小計の【 】は得点率。

7. 法人による評価結果

法人の総合的評価結果	点数(合計)
令和7年度は戦後80年にあたる節目の年であり、これを祈念した特別展示や平和祈念事業を精力的に実施した。また、大阪・関西万博の開催により、多くの外国人入館者が見込まれる中、展示解説の多言語化等の受入環境を整備した。さらに、学校向けアニメーション映画やデジタルコンテンツを新規に制作し平和学習の充実を図った。 これらの取り組みにより、府内小中学校来館率は、大阪・関西万博への小中学生招待事業の影響もあり、目標値を1.6ポイント下回ったものの、入館者数は平成27(2015)年のリニューアル以降、過去最高を更新し、入館料収入、平和寄金収入等、その他の全ての項目において目標を達成した。	80

8. 府の審査・評価の結果

審査の結果	経営状況、事業の実施状況その他の事項に関する府の評価結果及び指導・助言	点数(合計)	役員業績評価
・成果測定指標の8項目中、7項目において目標値を達成している。 ○最重点目標、事業効果、業績、CS ・最重点目標とした指標「府内小中学校来館率」については、大阪・関西万博小中学生招待事業の影響もあり、目標未達成となった。 ・一方で、戦後80年を踏まえた特別展示や、展示解説の多言語化等の受入環境の整備により、「入館者数」は、平成27年のリニューアル以降、過去最高を更新し、目標を達成した。 ・平和学習用デジタルコンテンツの周知も含め、学校関係へのPRや、企画事業の充実に努め、中期計画の目標に近づけるよう、さらなる認知度の向上に努める必要がある。 ○財務、効率性 ・累積欠損金や借入金はなく、財務状況は健全である。 ・入館料収入の確保に関しても、特別展示や平和記念事業の実施により、目標を達成している。	(評価) ・最重点目標である「府内小中学校来館率」の目標値については、未達成となっており、目標達成に向けた取組みが必要である。 ・一方で、「入館者数」や「入館料収入」については、限られた財源や人員体制の中で、外国人入館者の受入環境の整備や特別展示等を実施し、成果を上げている点は評価できる。 (指導・助言) ・引き続き、入館者数の増加に努めるとともに、「府内小中学校来館率」の増加に向け、学校等に対する効果的な広報活動に取り組むこと。 ・平和学習の推進のため、平和学習用デジタルコンテンツのPRをより一層行うことにより、「貸出資料利用件数」の増加につなげること。 ・特別展示など企画事業の充実を図るため、「平和寄金収入」の安定的な確保に努めること。	80	B

《参考》9. 「令和8年度大阪府行政経営の取組み」における方向性(令和8年2月)

○存続 ・ピースおおさかの運営を通じ、大阪空襲犠牲者を追悼し、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代に伝える
--

《参考》10. 経営目標設定の考え方

ミッション

- 大阪空襲犠牲者を追悼し、平和を祈念する
- 空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料を収集・保存・展示する
- 戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代へ伝え、平和を願う豊かな心を育み世界の平和に貢献する

基本方針

1 平和学習の推進

「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」を行う平和博物館として、戦争の悲惨さ・平和の尊さを次世代へ伝える。

2 ピースおおさかの利用促進

「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」として国内外を問わず一人でも多くの人に館の利用を促す。

3 館外での資料活用

館外での平和の情報発信、ピースおおさかのPRの場としての活用

4 自主財源・入館料収入の確保

自主財源の確保による事業実施と、有料入館者の確保に努める。

戦略目標と成果測定指標【中期経営計画上の目標値】

① 平和学習の推進

- ・府内公立小中学校来館率
【31.4%(R6実績)→32.3%(R11)】
- ・学校関係へのPR
【30回(R6実績)→30回(R11)】
- ・平和学習満足度
【94.6%(R6実績)→90.0%(R11)】

② ピースおおさかの利用促進

- ・入館者数
【73,681人(R6実績)→77,900人(R11)】

③ 館外での資料活用

- ・貸出資料利用件数
【406件(R6実績)→415件(R11)】
- ・出かける展示
【12回(R6実績)→12回(R11)】

④ 自主財源の確保

- ・平和寄金収入
【1,356千円(R6実績)→977千円(R11)】

⑤ 入館料収入の確保

- ・入館料収入
【4,233千円(R6実績)→4,927千円(R11)】

《参考》11. R8年度 目標設定表

I. 最重点目標(成果測定指標)

戦略目標	成果測定指標	単位	R6実績値	R7実績値	R8目標値	ウェイト(R8)	中期経営計画 最終年度 目標値(R11)	
① 平和学習の推進	府内公立小中学校来館率 (ピースおおさかに来館した府内市公立小中学校数／府内全公立小中学校数)	%	31.4	30.0	31.8	20	32.3	
	学校関係へのPR	回	30	30	30	10	30	
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)								戦略目標達成のための活動事項
最重点とする理由、 経営上の位置付け	○当法人は、①大阪空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈念する ②空襲を中心に大阪の人々の戦争体験に関する情報・資料を収集、保存・展示する ③戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代に伝え、平和を願う豊かな心を育み、世界の平和に貢献することを目的としている。平成27年4月に「大阪中心」に「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」にリニューアルし、主に平和学習施設として運営している。 ○先の大戦を自らの体験として語れる人は少なくなる一方、平和学習施設として当法人の果たすべき役割の重要性は高まっている。平和の尊さを次世代へ伝えるべく、館の取組みについて府内小中学校へ働きかけ、1校でも多くピースおおさかを利用してもらうことを最重点目標とする。							
最重点目標達成のための 組織の課題、改善点	○当財団の運営費のほとんどは府市の補助金に依拠しているが、平成20年の財政再建プログラム案において「府派遣職員は必要最小限」とされ、それ以降の補助金の減額も相まって、組織体制、事業展開とも極めて厳しい状況にあり、限られた人員・資源を生かした効果的な運営が求められている。 ○府内の公立小中学校については、市区町村によってピースおおさかへの来館率にばらつきがあり、来館率の低い市区町村への効果的な働きかけが必要である。							・府内全小中学校に対する来館案内 ・市町村教育委員会や校長会等においてのPRの実施 ・令和6年度から令和7年度にかけて新たな写真や機能を追加したデジタルコンテンツの更なる利用促進 ・講堂や会議室の利用の促進、教員等による平和や人権研修の誘致 ・定時映画やDVD化した戦争体験証言映像の上映、見学ワークシートの提供、戦跡めぐりなど、教員の平和学習のサポート ・学校の来館時期の分散化への取組み
活動方針	令和5年度に作成した学習用デジタルコンテンツの周知を含め、館の取組みについて学校等への働きかけを行い、小中学生への平和学習機会の充実を図る。 また、これまで蓄積してきた収蔵資料の整理、保存・活用に努め、博物館機能の強化を図るとともに、平和・人権研修などの誘致や他団体との連携を深め、平和ミュージアムとしての情報発信に努めていく。							・学校教員向けのアンケートによる効果的な平和学習のニーズの把握

Ⅱ. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	単位	R6実績値	R7実績値	R8目標値	ウエイト (R8)	中期経営計画 最終年度 目標値(R11)	戦略目標達成のための活動事項
① 平和学習の推進	平和学習満足度 (「ピースおおさかが平和学習の場として役立ったか」という問いに対し、「役立った」／全回答) (選択肢は、「役立った」「役立ったがもう少し工夫・改善があればなお良い」「あまり役立たなかった」「役立たなかった」)	%	94.6	96.4	90.0	10	90.0	・教員向けアンケートによる効果的な平和学習ニーズの把握
② ピースおおさかの利用促進	入館者数	人	73,681	75,351	77,100	15	77,900	・企画事業の充実 ・他の博物館等との連携 ・学校の来館時期の分散化への取組み ・SNSを活用した情報発信 ・夏休み等校外学習がない時期の催しの充実
③ 館外での資料活用	貸出資料利用件数(デジタルコンテンツ利用件数含む)	件	406	430	409	10	415	・来館が困難な学校に向けたPRの実施 ・デジタルコンテンツの説明会の開催その他積極的なPRの実施 ・貸出資料を増やして対応
	出かける展示	回	12	12	12	10	12	・展示先の確保 ・展示内容の充実

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

④ 自主財源の確保	平和寄金収入	千円	1,356	1,522	967	15	977	・企画事業等での積極的な寄附の呼びかけ ・税の優遇措置のPRの継続
⑤ 入館料収入の確保	入館料収入	千円	4,233	4,664	4,649	10	4,927	・魅力ある企画事業の実施やSNSを活用した積極的な情報発信

※ ()は当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値